

研究会

# ポスト資本主義時代の 新たなパラダイムとしての イスラーム経済の可能性と課題



ゲスト・スピーカー

京都大学大学院  
アジア・アフリカ地域研究研究科

**長岡 慎介** 准教授

イスラーム経済の思想および実践の独自性を、経済学・イスラーム学・地域研究を中心とした分野横断的な方法論を用いて探究している。著書に『現代イスラーム金融論』（名古屋大学出版会）、『お金ってなんだろう？あなたと考えるこれからの経済』（平凡社）、『イスラーム銀行—金融と国際経済』（共著、山川出版社）ほか。

今から半世紀前、1つの銀行から始まった現代イスラーム経済の実践は、今や世界中に広まるようになりました。近年、この実践に対して、資本主義の次なる経済システムとしての期待がイスラーム世界の内外から集まるようになっていきます。人々はイスラーム経済の何に魅了され、そこにどんな未来を描いているのか、課題と可能性を考えます。

日時

**2017年6月26日(月)**  
**16:20～17:50**

会場

**立命館大学衣笠キャンパス  
恒心館2階727室**

**入場無料**

**事前予約要**

連絡先

17v00017[at]gst.ritsumei.ac.jp  
(担当：二宮)

**【主催】**

科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型)  
「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」(研究代表者：末近浩太)

**科研費**  
KAKENHI

